

2007年(平成19年)8月20日

「水道サービスが止まらないために」

北大公共政策大学院・宮脇眞柄教授編著

『水道サービスが止まらないために』水道事業の再構築と官民連携―(編著・宮脇眞柄教授、眞柄泰基同特大学院教授、加費込)として配布される



(9日付既報)。
同書は水道事業の仕組み、現状、官民連携、監査制度、再構築

の5章構成で、「従来の官営水道事業の枠組みを抜本的に見直し、水道サービス再構築へ向けてあらゆる角度から検証・提言を行う」としている。再構築例として、東京都多摩地区水道の一元化や松山市・DBOによる浄水場整備等事業、三春町の包括委託、八戸圏域水道企業団の広域化を取り上げている。

編著者以外の執筆者は、山村尊房(厚生労働省水道課)、新田晃(前厚生労働省水道課)、石井正明(東京都水道局)、宮本融(北海道大学公共政策大学院)、戸來伸一(日本上下水道設計)、竹村雅之(日水コン)、片石謙也(東京設計事務所)、森本達男(ハシフィッコンサルタンツ)、森田豊治(イー・ジー・エス)、佐野修久(日本政策投資銀行)、清水憲吾(三菱総合研究所)、河合菊子(HVC戦略研究所)、安部卓見(神奈川県内広域水道企業団)、佐藤雅代(北海道大学公共政策大学院)、

吉村和就(クローバルウォータ・ジャパン)、松田奉康(クボタ)、渡邊滋夫(松山市公営企業局)、遠藤誠作(三春町)、大久保勉(八戸圏域水道企業団)。
A5判248頁で3360円(税込)。送料は290円(10冊以上は無料)。申込先は時事通信出版局営業企画部(TEL03-3501-9855、FAX同9868)